

様式1

令和3年度 学校評価表

学校教育目標	自立貢献 ～自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒の育成～
--------	---

a ミッション	生徒や保護者、地域から信頼される学校をつくる。 生徒や保護者が美木中に来て良かった。行かせて良かった。また、教職員が美木中に勤務して良かったと思える学校にする。 ○知育・徳育・体育のバランスを図り、地域に根ざした教育活動の推進 ○学校教育の信頼性の確保と満足度の向上	a ビジョン	①規範意識を身に付け、向上心を持ち、自ら学ぶ意欲的な生徒が育つ学校 ②自他を大切にしている生徒が育つ学校 ③自己を認識し、自分の将来の夢や目標を持つことができる生徒が育つ学校
---------	--	--------	---

尾道市立美木中学校

評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力	主体的に学ぶ力を育み、確かな学力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の結果で、正答率の低かった問題について、正答率の変化の調査を行う。 学習意欲に関する、生徒のアンケートの回答で変化をみとる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題となった問題の通過率を上げる。 「学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。」の肯定的評価の向上。 	プラス10%	85%	83%	97%	B	国語・数学の問題を分析し、正答率の低かった文章問題をとり上げた。どちらの教科も問題文を読み取るかに課題がある。国語では、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもち表現する力、数学では、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力である。 学習の振り返りについてのアンケート結果では、肯定的評価が、1年生88.3%、2年生83.0%、3年生79.1%であった。学年が上がるとつれ、授業の振り返りの時点での学習への意欲的な思いが、少しずつ薄れてきている。	3		もっと考えてみたいと思える意識が生まれる様、継続してご指導願います。	問題文から必要な情報を適切に読み取らせ、向を聞かれているかを明確にできるよう指導する。国語では、登場人物の様子を適切に捉え自分の考えをもち説明できるようにする。数学では、数学的用語を適切に使って説明できるようにする。 研究部を中心に各教員が一入一研究として、学力向上、学習意欲向上への取り組みを考えている。その中から授業での振り返りの評価について検討し、振り返りで書かせる内容を生徒に伝えたり、授業内容の工夫から促したりして発展的な振り返りが書けるように指導する。	
豊かな心の育成	自他を大切にしている生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業前に黙想を実施し、授業に臨む態度を養う。 生徒会を中心に、あいさつ運動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートの「学校や社会のルール・マナーを守っている。」の肯定的評価の向上。 	90%	99%	110%	A	落ち着いた態度で授業に臨んでいる。授業前の黙想の注意点について、今後も共通理解を図っていく。 あいさつ運動は実施できていないが、約90%の生徒が、自ら進んであいさつをしているというアンケート結果が出ている。校内だけでなく、校外や家庭でもあいさつができるよう習慣化していく。	3		自主的にあいさつができるよう、まわりから環境づくりをしていって下さい。	引き続き黙想に関する取組を行い、落ち着いた学校生活を送らせると同時に、どんなルール・マナーも守る意識の高さをつけていく。HR・学活・道徳・集団活動の中で常に声かけ・意識付けをしていく。 2学期から育友会（PTA）主体の挨拶運動が計画されている。それが実現するならば、まず身近な大人ということで、当番の保護者の方へ進んで気持ちのいい挨拶ができるように指導していく。		
健やかな体の育成	自己を認識し、自分の将来の夢や目標を持つことができる生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や部活動を通して、生徒の主体的な活動場面を設定し、自分の良いところを認識させる。 気力と体力をつけさせるため、基本的生活習慣を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケート「学校行事や部活動によって自分は体が鍛えられたと思う」「粘り強くなったと思う」の肯定的評価の向上。 生活習慣アンケート「朝食摂取、起床時刻・学習開始時刻・就寝時刻の固定」についての数値の上昇 	85%	81%	96%	B	「部活動や学校行事によって体が鍛えられたと思う」80%、「粘り強くなったと思う」83%と、平均して81%以上の肯定的評価があった。活動のみで終わらず、事前事後指導を充実させ、相互評価ができる取り組みを進めていきたい。	3		規則正しい生活のリズムは大事です。特に食事面は、毎朝しっかり食って学校に行くことが大事と考えます。	活動前に全体へ活動の意欲や計画を伝え、それぞれが目標や目的を持った上で活動に取り組ませる。活動中には、振り返りシート等を活用し、自己や他者に対する考えをまとめさせ、学校便りや通信等で全体へ返していく。 学習習慣について、自分の学習習慣を見つめ直し、各学年で学習時間を設定する等の改善策を考え、自分に合った学習習慣を確立できるよう手立てを行う。また、定期試験前の計画表の作成を通して、日々の学習習慣を見つめ直させる。		

【自己評価 評価】
 A: 100 ≤ (目標達成)
 B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
 C: 60 ≤ (もう少し) < 80
 D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。